

好きこそものの上手なれ

山本恭子 (住友化学株式会社)

仕事の内容とやりがい

私は化学メーカーで、有機ELという次世代のディスプレイや照明分野への応用が期待される材料を用いて、そのデバイス開発を担当しています。研究員でありながら、個人消費者でもあるので、将来どのような世界が広がるのか夢見ながら、それを仕事として現実のものに仕上げていくというやりがいがあります。化学メーカーでは、原材料から部材、さらには末端製品へと組上げていく過程が全て体験できます。そしていつか自分が関わった製品を店頭で購入するというのが私の夢であり、やりがいへとつながっています。

私の進路決定のきっかけ

私が小学校高学年であった頃、世の中では「省エネ」という言葉が唱えられ始めた時期でした。担任の先生が、「現在エネルギーは石油に頼らざるを得ない状況で、いずれ石油は枯渇する。将来きっと石油に替わる新しいエネルギーが開発されるだろう」と言われたとき、将来そんな仕事に関われないかと漠然と思ったのが、今思えば理系を選択したきっかけになったと思います。現在では「省エネ」は家電製品を購入するキーワードであり、新しいエネルギー分野の開発も進んでおり、研究員となった今でも次世代を想像するだけでワクワクします。

仕事と家庭のバランスについて

若い頃はほとんどが仕事という生活をしてきたようにも思いますが、家族を持った今は、休日には自分と家族のために時間を使おうと心がけています。研究という仕事は集中が大切であり、疲れていては良いアイデアは得られません。濃淡があるからこそ、仕事に集中でき、成果を上げることができると考えています。仕事と家庭のバランスを取るといった器用なことをするよりも、それぞれ一生懸命取り組んでゆくことで、自分らしいやり方ができてゆくのではと思っています。

進路選択についてのメッセージ

将来どんな仕事に就くとしても、自分の強みを持つことこそが、長く仕事を続けられる糧になると思います。仕事というのは、一生同じではなく、どんどん変化してゆくもので、10年先がどのような状況になるのか誰にもわかりません。どのような仕事に就いても、社会の動きに合わせて仕事の内容も変わってゆきます。進路選択に正解はなく、価値のある選択とは、自分の強みを持つための選択であり、皆さんには変化に対応する実力を身につけていただきたいと思っています。「好きこそものの上手なれ」

<山本恭子 (やまもと きょうこ) プロフィール>

茨城県立土浦第一高等学校卒業
お茶の水女子大学理学部化学科卒業
住友化学株式会社入社
入社後、社内結婚
第1子出産
育児休暇取得
復職(現職)

